

# 保幼小連携だより 第5号

—南城市保幼小連携事業— 令和4年12月9日 南城市幼児教育センター

## 第5回保幼小連携事業バンビ保育園公開保育及び合同研修会10/20

第5回保幼小連携事業は、バンビ保育園の公開保育を通して、「乳幼児期の理解を深め小学校教育へつなぐ」ことを目的に実施。今回は希望する参加者を募っての研修会を実施することができました。

### 保育参観の様子

～子ども主体の保育をめざして～ 子どもの「やりたい！」が発揮される保育の展開

「子ども主体の保育を目指した保育の展開！」子ども達の興味・関心に寄り添い子ども自身で好きな遊びができるように、保育士間で共通理解をしています。もちろん安全に気をつけながら遊べる子・自ら安全に気を付け行動できる子どもの育ちなど日々意識しています。



0歳児：保育者のもとで安定する



1歳児：ふわふわ風船遊び



2歳児：のびのび広場で遊ぶ



3歳児：集中して製作遊び



3歳児：おそば屋です来て下さい



4歳児：青からピンクに変わるよ



4歳児：手作りの紐で遊ぶ



0歳児・1歳児・2歳児は保育者のもとで、安心して遊んでいます。園舎のすぐ近くにはトンネルや斜面の環境があり、全身を使って伸び伸びと思いきり遊んでいます。3歳児・4歳児は、自ら環境に関わり主体的に遊びを展開しています。自分なりの目的を持ち集中して遊び、思いや考えを友達に伝えながら遊ぶ姿が見られました。思い通りの色水を作りたい、おしりが地面に付かないように紐を調整したり、試したり工夫したりしながら遊ぶ姿がありました。「健康な心と体」「自然との関わり」「友達との関わり」「思考力の芽生え」等の育ちを捉えることができます。



## 合同研修会の様子

参加者：保育所・こども園14名、幼小6名、その他8名、行政14名。計42名



合同研修会では、安次富園長先生の挨拶があり、前川先生(担任)と嶺井主任の保育の振り返り等がありました。子どもの声に耳を傾け対話を通して、やりたい事が出来る保育の展開をした。子ども達は意欲的になり、遊びは明日へと継続し、遊び込むことができました。(振り返り)

### 【グループ協議の様子】保育参観の視点①～③から協議をしました。グループ協議の記録：抜粋

#### ①本日の子ども達はどのような遊びに興味や関心を持ち楽しんでいたか。(主体的な保育の展開)

- ・子ども達は自分達で好きな遊びを見つけて、自分の思いの遊びが続く連続性のある保育になっていた。
- ・園庭では色水遊び自然の物を使って、色々な道具で個々が遊び小集団の遊びでは会話も広がっていた。
- ・4歳児は縄跳用の縄に興味を持っていて、縄跳びはまだ回せないが縄を使って別の遊び方を楽しんでいる。
- ・3歳児はマジックやはさみを自由に使い、楽しく製作遊びをしていた。(遊び方を工夫していた。)

#### ②遊びの中で、どのような力が育とうとしているか。「10の姿の育ち」を手掛かりに！

- ・主体的・対話的で深い学びにつながる姿  
鉄棒に布で作った紐(ロープ)を結ぶ→布の紐なので伸びる→子ども同士で話し合う→ロープの幅を長くすることに気づく→「おしりがつかないね」「いっぱい遊べるね」と毎日遊び込む姿がみられる。  
協同性…工夫したり、協力したり、充実感を味わう姿がみられる・健康な心と体、バランス…縄遊び
- ・自然との関わり、生命尊重…虫取り、幼虫の観察・豊かな感性と表現…色水遊び(色の変化・探究心)

#### ③育ちを支える園の先生の関わり(環境や援助)について

- ・信頼関係・愛着関係が取れていた。・園庭の使用(3、4歳児)、その他年齢に合った環境が整っている。
- ・のびのび広場は、自然の環境(山・谷・でこぼこ・トンネル等)斜面を走ることができる良い環境である。  
安全面に配慮しつつデコボコしている場所・綱など、楽しく遊べる保育環境を整えていた。
- ・保育士は声の大きさを意識している。丁寧な言葉かけ、子どもの気持ちを受け止め、子ども自身に考えさせる言葉かけをしていた。そのことから、子ども達が主体的で伸び伸び遊びを展開していると感じました。



活発にグループ協議が行われた

協議の記録を発表、共有する



#### 指導助言及び講話

#### 講話：「幼児期の育ちや学びを理解し小学校へつなぐ」

- ・楽しく没頭して遊ぶ中で自分達でルールを作ったり、遊びを工夫したりして学びに繋がる。遊び込んでいたら10の姿に繋がり楽しく遊ぶ中に学びがある。小学校への繋がり。
- ・保育者の言葉かけがもう少しほしい。遊びが広がるように一緒に遊ぶ中で気づかせる。
- ・0歳児でも自分で環境に働きかけていく。主体性を引き出す関わり⇒音の出る玩具・音の出ない玩具
- ・1歳以上3歳未満：大人によるきっかけづくり⇒大人が先に遊んでみると子どもも触ってみたいくなる。人数分の玩具が必要。室内でも粗大運動の玩具も必要となる。
- ・3歳以上：ヒントや友達の工夫に気付くきっかけ作り⇒友達を見たくなる。
- ・5歳児：少し不自由さが必要となる。⇒全部保育者が前もって準備し過ぎないこと。子どもが気付いて準備することも大事。